

2022

I / 4 火 ▶ 2 / I 3 日

開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日：月曜日(ただし1月10日(祝・月)は開館し、翌11日(火)は休館)

観覧料：300円(200円)、高校生以下・障害者手帳をお持ちの方及び介助者は無料

※()内は前売り料金、65歳以上・大学生(要証明)、20名以上の団体料金、ウッドワン美術館年間パスポート・さくらびあ倶楽部会員証・ちゅーピーくらぶ会員証のいずれかご提示の方(1枚につき1名)。

※前売券は、はつかいち美術ギャラリーで販売しています。(12月28日まで)

主催：(公財)廿日市市芸術文化振興事業団

協力：(公財)ウッドワン美術館・株式会社ウッドワン

ウッドワン美術館
収蔵作品展 28

アート



の



お

か し

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
(廿日市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ 併設)
TEL0829-20-0222 <https://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/>

○新型コロナウイルス感染防止の為、マスク着用・検温・アルコール消毒等のご協力をお願いいたします。

○混雑時には入場制限を行う場合があります。

マイセン色絵置物《山羊に乗った仕立屋》1850年頃
(原型制作 ケンドラー、1737年)

み



右上・左下図版：富岡鉄斎 《漁樵問答圖》(部分)

ウッドワン美術館 収蔵作品展 28 「アートのおかしみ」

ウッドワン美術館収蔵作品展は、平成9年の開館以来、国内でも有数のコレクションを誇る同館の収蔵品の中から精選して紹介する展覧会です。

28回目となる今回は、「アートのおかしみ」と題し、ちょっぴり不思議な、よく見ると面白い、個性あふれる人物画や静物画・風景画、生き物をモチーフにした工芸作品を中心に約20点を展示いたします。

独特な世界観で個性が際立った作品をご覧いただき、制作された時代や場所、作者の思いなど、想像をめぐらしアートの新しい魅力を発見していただけたら幸いです。



竹内浩一《家理》1975年



鳥海青児《花の図》1941年



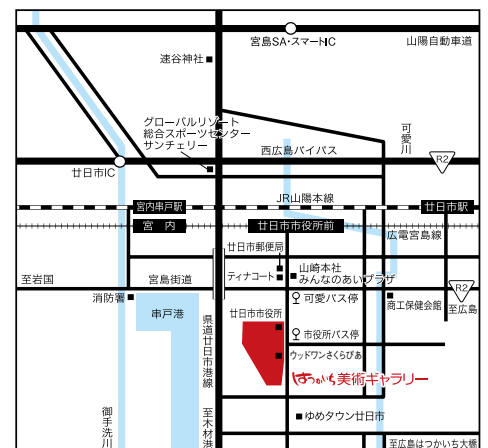
片岡球子《面構葛飾北斎》1987年



富岡鉄齋《漁問答圖》



北川民次《見物(メキシコ)》1938年



交通案内

- JR広島駅から(所要時間約45分)
 - ① JR山陽本線で「宮内串戸駅」下車。広島方面へ徒歩約15分。
 - ② JR山陽本線で「五日市駅」へ、広電宮島線に乗り換え「広電五日市」から「廿日市市役所前(平良)」下車 徒歩約7分
 - 広島市内中心部から(所要時間約1時間)
 - 広電宮島線で「廿日市市役所前(平良)」下車 徒歩約7分
 - 廿日市I.C.から(所要時間10分)
 - 山陽自動車道「廿日市I.C.」を降りて西広島バイパスを広島方面へ。上平良交差点を南へ約1km、陸橋を下りてすぐ左折。
- ※ 駐車できる台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

はつかいち美術ギャラリー

HP [はつかいち美術ギャラリー](http://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/)

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
 (廿日市市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ 併設)
 TEL.0829-20-0222
<https://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/>

ウッドワン美術館学芸員によるギャラリートーク
2022年1月22日(土) 14:00~
 《関連行事》
 ◎展示室内で行います。申し込み不要、要観覧券
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加人数の制限や、状況によっては中止となる場合があります。

きっず・あーと 2022・中学校合同美術展
2022年2月16日(水)~2月27日(日) 観覧無料
 開館時間：10:00~18:00(入館は17:30まで)

ウッドワン美術館は冬季休館となります。 冬期休館 2021年12月6日(月)~2022年3月下旬(予定)
 《お問合せ：ウッドワン美術館 TEL.0829-40-3001》